



これからの 学校と地域のかかわりは これだ！

文部科学省は、教育振興基本計画の中で「共生社会の実現に向けた教育の方向性」について、次のように述べています。「個人と社会のウェルビーイングの実現の観点からは、保護者や地域住民等が学校運営に当事者として参画するコミュニティ・スクールや、地域住民等の参画により地域と学校が連携・協働する地域学校協働活動を一体的に推進するとともに、地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チームの活動を推進していくことが効果的である。」

本号では、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が中核となり、PDCA サイクルを回しつつ、地域学校協働活動の質を高めている灘小学校を紹介します。

※ ウェルビーイングの実現とは …多様な個人それぞれが、幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せ

や豊かさを感じられるものとなること

※ PDCA サイクルとは …計画→実行→評価→改善 を繰り返すこと

「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的な推進 【灘小】

2年生には竹馬は難しいけど、何度もチャレンジする姿・できた時の歓声が印象的でした。来年もやりましょう。〈学運協委員〉

P
lan

計画（学校運営協議会）

地域の皆さんが、子供をよく知っておられ、我が子のように接して頂いています。子供もとても喜んでます。〈福本校長〉

D。

目的・目標達成に向けた取組

C
heck

活動に対する評価（学校運営協議会）

社会見学の引率は、疲れました。蛸かご作りは参加が少ないのでやめてもいいのでは？おもちゃ作りの手伝いは楽しいし、必要なら続けましょう。〈学運協委員〉

A
ction

工夫・改善した取組

ミシンの補助は先生がとても喜ばれているし、しめ飾りづくりは社協の皆様と子供、子供同士の関りが深まるのでいいですね。〈学運協委員〉



学校運営協議会が、連絡の場ではなく、一つ一つの活動が子供にとって価値あるものかを本音で話し合う場となっていました。課題のある子供についての望ましい接し方、教職員の働き方改革等についてもフラクに意見が交換されていました。「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」が一体的に推進されています。保護者の方々や多くの教職員に、「学校と地域がつながること」の価値や意味を伝えたいものです。